

薬局開業をお考えの薬剤師の方へ

独立開業 基礎知識





開業をお考えの すべての薬剤師の方へ

目次

最近のM&A事情について
薬局の開業について
資金について

section 1

最近のM & A事情について

- 薬局業界の再編について
- 昨今の薬局M & A事情
- 薬局開業までの流れ

薬局業界の再編について

約16%

大手調剤チェーン・ドラッグストアのシェアは、
上位10社でも約16%。

まだまだ独占企業がない、低寡占市場。

これから調剤薬局は、成熟期を迎え、
大手企業の合併や、不採算店舗の切り離しなど
M & Aは加速されると予測されています。

昨今の薬局M & A事情

●増えすぎた調剤薬局

医薬分業により、調剤薬局は爆発的に増加。その数、60000件以上。市場は、成長期から成熟期へ。今まで薬局数を意識した経営方針から運営体質を見直す方針へ。

●大手薬局の不採算店舗の切り離し

近年の調剤報酬は大手チェーン薬局にテコ入れをした形に。大手調剤が経営不振である店舗を切り離す傾向。

●事業の取捨選択

不動産会社等が調剤薬局事業に参入することが一時期トレンドであったが、昨今の調剤報酬改定や、より専門性が必要となる観点から、事業の撤退が進む。

section 2

薬局の開業について

- 開業の種類
- 事業承継を考える薬局の特徴
- 事業承継までの流れ

開業の種類

新規開業

薬局を新規で開局する

【メリット】

- ・自分の理想の薬局が作れる
- ・設備等が新しい、薬局が綺麗

【デメリット】

- ・案件を見つけることが難しい
- ・金額が大きい

事業承継

既存の薬局を引き継ぐ

【メリット】

- ・新規に比べて案件を見つけやすい
- ・融資がおりやすい

【デメリット】

- ・既存の薬局カラーに
合わさなければいけない場合がある
- ・設備等が古い場合がある

フランチャイズ

本部と契約した加盟店のオーナーが
店舗を運営

【メリット】

- ・親会社のブランド力を利用できる
- ・薬の仕入れなどが本部で
行っていただけの場合がある

【デメリット】

- ・ロイヤリティが発生することがある
- ・運営における制約が多い場合が多い

事業承継を考える 薬局の特徴

人材不足

僻地などに多い。人材確保が難しく、薬局の経営が困難。

経営判断・収益低下

コロナ禍で増えてきた理由。収益を確保できなくなり、経営が困難。

事業撤退

親会社が別の業界の会社で、薬局事業からの撤退。

事業承継 までの 流れ

- 専門家への相談
弊社を含め、M&Aの専門家への相談。
開業についてのキャリアプランや受けるサービスの相談
- 譲渡案件を探す
M&Aの専門会社などを利用し、開業の案件を探す
- 譲渡案件の検討・条件の交渉
開業案件が出てきた際、自身にあった案件か検討する
- 基本合意
譲現時点での基本的な諸条件の確認、合意
- 最終交渉
契約の締結のに向けた、最終調整を行う
- 最終締結
最終的な契約の締結。法的拘束力が発生するため、これ以降の変更は不可

section3

資金について

- 必要な自己資金
- 融資を受けるポイント

必要な自己資金

融資を受ける ポイント



いくら必要？

目安としては創業資金総額の3割を自己資金で貯めると良い。

ただし、年齢やキャリアや開業形態によって必要な自己資金は大きく変わってくる。

まずは専門家へのキャリア相談をオススメします。



どうすれば融資を受けられる？

基本的に、自己資金だけではなく

銀行や日本政策金融公庫などから借入れを行い開業資金を調達する。

開業の動機や、事業プラン、今までの経歴や経験等で融資金額のが、そもそも融資が受けられるかどうか審査をされる。

開業・転職・キャリア相談を希望の方へ



薬剤師 ベストキャリア

私たちがご提供するのには単に「転職して終わり」ではない”キャリア支援”
経験豊富な国家資格者が多数在籍し、キャリアや開業・ライフプランを通し
「次の転職先をご紹介して終わり」ではない、皆さまの人生のステージ
に寄り添った、長期的なお手伝いをいたします。

また、医療・介護専門の転職サポートに20年以上携わる当社だからこそ医療
機関や求人詳細の情報量が圧倒的に豊富です。

個別相談を予約

COMPANY DATA

社名 MRT株式会社
設立年月日 2000年1月26日
資本金 4億3,211万円
本社所在地 〒150-0041 東京都渋谷区神南1-18-2フレーム神南坂3階
代表者 代表取締役 小川智也（医師）

[サービスの詳細を見る](#)

事業内容

医療情報のプラットフォームの提供

1. 医師及び看護師等の職業紹介
2. 医療機関の開設及び運営のコンサルティング
3. 医師が発信するオウンドメディアの運営
4. 医局向けグループウェアの運営
5. 遠隔診療・健康相談サービスの運営